

科目ナンバリング									
授業科目名 <英訳>		科学論Ⅰ Philosophy and History of Science I			担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 教授 青山 拓央		
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)	哲学・思想(基礎)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	月5		配当学年	全回生	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
<p>科学とは何か、という問いは、漠然としており答えるのが困難です。しかし、一方で私たちは、科学とそれ以外のものをかなりの程度、区別しています。本授業では、ある具体的なテーマに関し、科学が何を見いだしてきたか、そして、哲学では同テーマをどのように扱ってきたかを解説し、その比較を通じて科学の特性を理解していきます。具体的なテーマとしてはとくに「自由意志」を取り上げ、それにまつわるさまざまな科学史・哲学史(とりわけホップズ以降の約350年ほどの近現代哲学史)を参照していきます。「人間の意志ではなく脳が行為をさせている」といった、近年耳にする機会の多い言説が、どれだけの正当性を持っているのか、さらに、そもそもこの言説は何を「意味して」いるのか、こうした問いを掘り下げることで、科学論の一つの在りかたを提示します。</p>									
【到達目標】									
<p>「自由意志」の科学と哲学をめぐる諸研究を知り、その論点を学ぶとともに、科学的研究の特性を、歴史をふまえて理解します。</p>									
【授業計画と内容】									
<p>下記の5つのテーマに沿って、「科学とは何か」「自由とは何か」を考えます(授業の進行具合に応じて、どのテーマに何週をあてるかを変更する場合があります)。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス・科学的研究の特性について#1(第1週)</li> <li>2. 自由意志の科学と哲学#1(第2週~第5週) (ホップズからヴァン・インワーゲンに至る多種の議論を紹介。)</li> <li>3. 因果関係と自然科学について(第6週~第9週)</li> <li>4. 自由意志の科学と哲学#2(第10週~第13週) (メレヤペレブームなどによる、より近年の議論を紹介。)</li> <li>5. これまでのまとめ・科学的研究の特性について#2(第14週)</li> </ol>									
【履修要件】									
特になし									
【成績評価の方法・観点】									
期末の筆記試験で成績を評価します。採点基準はやや厳しめです。									
【教科書】									
使用しない									
----- 科学論Ⅰ(2)へ続く -----									

科学論 I (2)

[参考書等]

(参考書)  
授業中に紹介する

[授業外学修(予習・復習)等]

授業前の予習はとくに必要ではありませんが、授業後の復習は十分に行なってください。

[その他(オフィスアワー等)]

教室収容人数に応じて、初回講義の際、受講者を制限することがあります。授業での積極的な質問・発言を期待します。

[主要授業科目(学部・学科名)]